

酒々井町郷土研究会々報

第6号
昭53.4.15
発行
酒々井町郷土研究会総務部



さて今日、全国各地で県史や市町村史の編さん盛んに企てられてゐる。当酒々井町でも、資料集(一)中近世編(資料集二)近世(資料集五)近代、現代(近世)が去来上る予定である。後三、四年の間に、一つは、戦後優先の道とある。一つは、戦後の社会が、公害や自然環境破壊、人間の身体にもむしほまれ、てきてゐること、の問題に見られるように、今、一つの車輪に直面してゐることへの自覚の現われではないか。今日、開発に伴う新たな遺跡、埋蔵文化財の発見や、更にそれらが消滅の危機にさらされてゐる更なる高も、一般の郷土史への関心を高め、てきたものと思はれる。

酒々井は、古くは縄文時代の古代人の集落があった。原始生活の遺跡から、今日、東の住居、田圃の開発に至るまで、持門、頼朝、千葉氏代々の他、多くの古社寺、仏像、碑、古文書、伝説など多岐にわたる歴史が、くろひろげられ、人間の間、今、郷土研究会は、生きた歴史といふべきであらう。木内氏、京増氏、成毛氏、川島先生はじめ、沖田さん、相京会長等と働き、さらには、夕ツツに見守られて、さらには、

かえって刺激となり、郷土史への関心の昂まりとなつて、酒々井町郷土研究会の存続、買一五五名(三月現在)の存在も、いかなる歴史の存続と、所にも位置づけられてゐるかを、知ることに、その活動の第一歩といえるのではないだろうか。

値役の歴史

内閣総理大臣の給料

十五万	十一万	八万	六万	四万	二万五千	三万	八千	一万	一万二千	九千六百
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
昭和三十三年	昭和二十七年	昭和二十六年	昭和二十六年	昭和二十四年	昭和二十三年	昭和二十一年	昭和六年	大正九年	明治四十三年	明治十九年
百十五万五千	百	九	六十五万六千五百	六十五万九千九百	五十五万九千九百	五十五万三千五百	五十五万	四十万	二十六万	二十五万
円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
昭和四十九年	昭和四十八年	昭和四十七年	昭和四十五年	昭和四十四年	昭和四十四年	昭和四十三年	昭和三十八年	昭和三十七年	昭和三十七年	昭和三十五年



事務局より

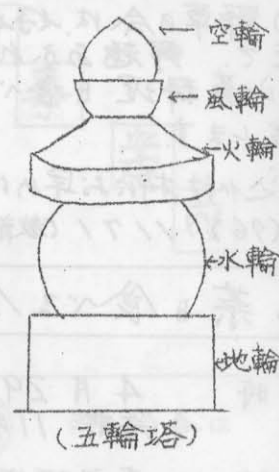
仰藩召をわたりたる風も日毎にさややかに、木々の若芽萌出する頃となり、ま、会費の増減、まよには行事、会費等に温かい厚情を賜り御礼申し上げます。未納の方はいらして、おろしく、尚都、合、地区役員までどうぞ、

新会員の御紹介

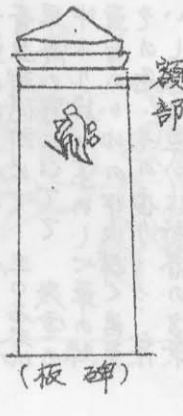
- 151 増田基
- 152 相京彬
- 153 小倉億幸
- 154 石渡利平
- 155 福田トミ

◎ 郷土研究会は文化活動をより中広いものとするため新会員と募集しております。会費は千円、お申込みは(96)1171(教育委員会)まで。

連載 石造美術に就て NO3



五輪塔は宇宙の根本原素と考
えられた。空・風・火・水・地
の五大と象徴的に積み重ねた形
の五輪塔を見ますと、鎌倉時代
の形が守られていたのがよくわ
かります。平安時代後期に密教系
の塔としてあらわれ、越えて後
鎌倉時代以後は京派と越えて後
世に至るまで大流行しました。
全然無地のものと各輪に五輪塔
特有の四門に梵字と刻むものが
多くあります。種類は有頭、三
下膨、囀合せ、整形、隅切、三
角、六角、八角、円形、長足等
の五輪塔があります。

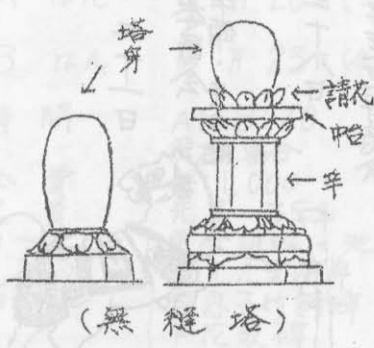


板碑は日本創作のもので頭部
と山形に作り、その下に二段の
切りこみ、頭部があり、身部の
下に根柢と作る板状の石塔であ
ります。この形式は鎌倉時代
前期以来、板状の緑泥片岩と、

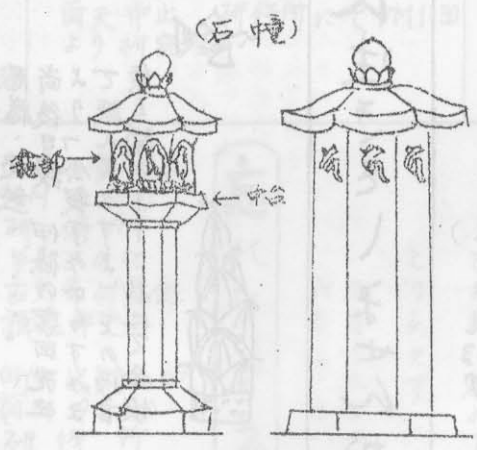
造する関東において大流行した
ものです。また花崗岩・凝灰
岩などを使得作られた板状で
ない同系のものであります。こ
れも当然板碑であり自然石の
ままでも内容がこれに属するも
のは自然石板碑といえます。



空塔婆は板状または柱状の背
の高い塔身の上に笠をのせ、そ
の上の宝珠を飾った塔で柱上部
の仏像または梵字をあしらった
ものが多い。なかには笠を失い、
塔婆であるかどうかのわからな
いものもある。塔身頂上に笠
とかがあり、塔の身の上に笠
を乗せた時の様子のために、
が塚とあり、その注ぎに、
見るとわかりやすい。なおこれ
は平安時代末期以来作られてい



石幢は仏堂内に幢という六
角や八角の布のたれで、旗
と見かけを思いますが、その
れから考へると、たれは中
国から日本に入ってきたもの
です。中国では幢身の経文
を刻む経幢であり、その文
を刻むのは多面体の笠塔婆とい
うか、現しは六地蔵を刻むもの
が多くあります。



普通塔には頂上に笠のあるの
が特徴の一つですが、笠は聖者
のみ必要であって、凡人の塔
には、もったいないとの議論
があつて、この塔形が出現した
といわれています。無縫塔は八
角竿石、基台を加えたもので
す。卵塔は石造無縫塔の略式
のもの、台座の上になだ石塔
を乗せただけです。因の古は
鎌倉時代、左は室町時代です。

石仏調査

路傍や墓地等にたくさん
の石仏が忘れ去られたよう
な姿で見受けられます。こ
の石仏は、私達の先祖たち
があつた信仰によつて建立
したものであります。この
石仏には先祖たちの信仰や
生活が秘められています。

郷土研究会では三か
年計画で町内の石仏調
査をすることに決定い
たしてあります。会員
各位の積極的な協力と
お願ひいたします。
本年度は第一次調査
として左記事項につい
て実施いたしますので
よろしく御協力のほど
お願ひ申し上げます。

普門品供養碑、玉羽三山供養碑
富士登山供養碑、馬頭観世音碑
右の碑所在地を報告
五月末日までに御願ひします

郷土研回誌

○一月十四日

▲七草かゆと食べる会
 青年研修所にて 三〇名参加
 早春の野にいでて 寒雲の中より
 摘み集めし七草の緑 真白のかゆの中に輝く
 菜葉の香りに 集いし人々互いに新春の言葉
 と交し合い今年もよろしく
 と笑顔 笑顔... 差入れ
 の内酒人々の舌を軽やかに
 女客の頬を染める 座は
 いだいに興に入り唄う人
 踊る人 笑う人、まなびが
 七福神もかくの如しと思
 わる。郷土研第一のヒット
 行事かしらん? と声あり。

○一月二十一日

▲運営委員会
 総会準備その他
 一月二十八日
 ▲五十三年度定時総会
 年のはじめのから苦しい行事
 町長さんは風邪をおして出席
 会員百五十名突破に驚きの声
 議事承認の後やっとおひらき
 新会費の方のお席が目立ち
 相済み長名前を覚えるのには必
 死: むうん女性の方ばかり
 教養の京師君、寒い所長時間
 の受付ごくろう様でした。

○二月十六日

▲会報第五号発行
 旧年よりの風邪に見舞われ
 予定と一月も遅れての発行
 「ぴんぴんとおさまるところ
 だけはいらないもんぞすね」
 と細川氏評。押尾氏より
 「七草かゆはおかわりしな
 かったよー」と抗議あり。
 「ともかくも書いてくれれば
 助かるんですよ」と会長の
 本音と聞き又風邪ぶり返し
 悪感、発熱...
 尚後日談 伊藤の宮田先生
 より「会報すみからすみま
 で読んでますよー」との言葉
 業と聞き「これにて全快



会



○二月二十六日

▲野草の会 参加者十五名
 谷上り、大川戸、尾上方面
 三月二十六日
 ▲野草の会 参加者十三名
 尾上、七田方面
 三月二十九日
 ▲運営委員会
 四月六月の事業実施その他に
 ついて協議
 家紋調査は更に検討を重ねる
 主に「山菜と食べる菜」に意見
 集中、めざらしく福田豊夫役員
 の主席で議事めめらかに進行、
 筆者このところ常に欠席、謝

山菜を食べて健康で美しく長生きをしませんか? 皆さん

4月の野草の会は、好季節と
 合わせて、野趣あふれる自家
 製の山菜料理を食べるべく
 挑戦します。

お申込みは特にお早めに
 (96) 1171 (教育委員会)

山菜を食べる会

- 1. 日時 4月29日(土) 午前11時
- 1. 場所 青年研修所 和室
- 1. 会費 ￥300
- 1. 定員 35名

(献立)

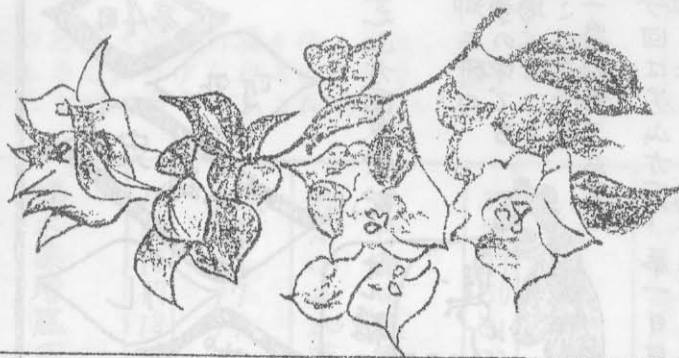
- ★ ぶらの芽、山うどの葉、ぎぼうし
よもぎ、の天ぷら
 - ★ 野甘草、山うど、のびるの
酢のもの
 - ★ 野みつばの すまし汁
 - ★ 里芋の木の芽あえ
 - ★ 筍のぶら込みゆはん
- アルコールもちよっぴり用意します
 (会長曰く)

尚 準備の爲の山菜採りをし
 ます。前もってお手伝い出来る
 方はご連絡をお願いします。
 ぶらの芽、ぎぼうし、のびる、
 山うどの採集出来る場所を
 御存知の方御知らせ下さい。



※牡母梅(八重梅)と五分り七分咲きの時摘からう一度塩漬のしものも更に梅酢に漬けて

会報に皆さんの声と
皆さんの生きたニュースと
およせ下さい
(係)



行 事 案 内

6月20日 & 6月23日

第5回 町外史跡見学会

A はん 6月20日(火)
B はん 6月23日(金)

時間 AM 8:20
役場集合
羊 1,000
先着 35名
東金雄蛇ヶ池
九十九里海岸
智恵子竹詩碑
芦花歌碑
竹久夢二詩碑
眞忠組碑
伊藤左千夫生家
成東食虫植物科落

会費 愛買コース
申し込み 96-1171

5月28日 野草の会

牙総風土記の丘遠征

時間 AM 9:50
場所 国鉄酒々井集合

(往) 10:09 酒々井発乗車
(復) 15:30 松崎発

史跡と訪ねながら植物観察
乗車賃自費
昼食各自用意下さい
雨天中止。研修所にてPM11:30より研究会

5月7日 & 6月11日

町内史跡めぐりハイキング

教育委員会共催

時間 AM 9:30
場所 青年研修所集合

コース 根古屋吉祥寺
清光寺
妙胤寺
同和集会所昼食
慶宮神社
長熊庵

昼食各自用意下さい
自由参加、肉家族づれ最高

後記
会報を書きながら思うことはいろいろありますが、書きおえた時のことばかりで、岩田先生のヨーロッパ旅行話を聞きに行ったり、ナポレオンをいびきながらお花見をさせて、野老先生ともお会いしたい、カタクリの花もさながら、川島先生のお庭もたいへん、あふそれらの授業参観にPTAにも家庭訪問もあるし、明日は県庁へファイルの借用に、...

- 4月29日 山菜と食べる会 (AM 11:00) 研修所 羊 300
- 4月相沢 古文書研究会 講座申込み
- 5月7日 町内史跡めぐり (AM 9:30) 研修所 参考会
- 5月13日 古文書研究会 (PM 1:30~)
- 5月28日 野草の会 (AM 9:50) 国鉄酒々井集合(予定) 石仏調査報告
- 5月末既
- 6月10日 古文書研究講座 (PM 1:30~)
- 6月11日 5ヶ所ハイキングの場合
- 6月20日 町外史跡めぐり AM 8:20 役場集合 羊 1,000
- 6月23日)

忘れないでね

五月十三日(土) 午後一時三十分より二時間
六月十日(土)

とりあえず 今後の予定は 青年研修所にて
準備の都合もありましたので希望者は教育委員会までお申し込み下さい

あなたにも古文書が読めます!

江戸時代の御家流(地方文書)の解説と解説
と、十二回の勉強会を予定していますので、多くの方々の参加をお願いたします。

会費外の方も大いに歓迎いたします。お近くの方などで古文書に関心のある方は是非おかけ下さい

四月末まで

くわんくわんは、飯後の左近裏一先をへ